

Mizuho Daily Market Report

2024/5/16

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	156.11	154.88	▲1.54	▲0.65
EUR	1.0826	1.0884	+0.0065	+0.0136
AUD	0.6643	0.6694	+0.0067	+0.0114
SGD	1.3497	1.3452	▲0.0066	▲0.0103
CNY	7.2235	7.2190	▲0.0147	▲0.0056
MYR	4.7023	4.7063	▲0.0112	▲0.0352
THB	36.56	36.54	▲0.13	▲0.42
IDR	16029	16028	▲76	▲17
PHP	57.55	57.55	▲0.30	+0.16
INR	83.50	83.50	▲0.01	▲0.02
VND	25454	25454	+1	+21

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.340%	▲9.9 bp	▲15.4 bp
日本(10年)	0.956%	+0.3 bp	+7.4 bp
ユーロ圏(10年)	2.422%	▲12.6 bp	▲4.0 bp
オーストラリア(5年)	4.004%	▲0.4 bp	+1.6 bp
シンガポール(5年)	3.229%	▲5.0 bp	▲0.8 bp
中国(5年)	2.128%	+1.7 bp	+0.1 bp
マレーシア(5年)	3.704%	▲3.4 bp	▲2.6 bp
タイ(5年)	2.496%	▲1.4 bp	▲4.1 bp
インドネシア(5年)	6.962%	▲1.8 bp	+1.5 bp
フィリピン(5年)	6.470%	▲4.5 bp	▲2.7 bp
インド(5年)	7.093%	▲2.4 bp	▲4.7 bp
ベトナム(5年)	2.170%	▲1.0 bp	+1.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	39,908.00	+0.9%	+2.2%
N225(日本)	38,385.73	+0.1%	+0.5%
STOXX50(ユーロ圏)	5,100.90	+0.4%	+1.2%
ASX(オーストラリア)	4,596.71	+0.3%	+1.2%
FTSE(シンガポール)	3,289.42	▲0.7%	+0.8%
SSEC(中国)	3,119.90	▲0.8%	▲0.3%
SENSEX(インド)	72,987.03	▲0.2%	▲0.7%
JKSE(インドネシア)	7,179.83	+1.4%	+1.3%
KLSE(マレーシア)	1,603.23	▲0.2%	▲0.1%
PSE(フィリピン)	6,558.63	▲0.8%	▲1.5%
SETI(タイ)	1,370.44	▲0.4%	▲0.2%
VNINDEX(ベトナム)	1,254.39	+0.9%	+0.3%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	289.97	+0.9%	+0.3%
金	2,385.99	+1.2%	+3.3%
原油(WTI)	78.63	+0.8%	▲0.5%
銅	10,124.79	+1.2%	+3.7%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	152.60	—	155.10
EUR/USD	1.0740	—	1.0950
AUD/USD	0.6490	—	0.6790
USD/SGD	1.3390	—	1.3680
USD/CNY	7.1950	—	7.2480
USD/INR	4.6260	—	4.8050
USD/THB	36.00	—	37.50
USD/IDR	15880	—	16200
USD/PHP	55.90	—	58.00
USD/INR	82.30	—	83.70
USD/VND	25,000	—	26,000

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は156円台前半でオープン。昨日の米金利の低下を受けドル円は軟調な推移となり一時156円台前半まで下落。海外時間には米CPI・米小売売上高の発表を控えていることから値幅は限定的にとどまり、結局156円台前半で海外時間に渡った。アジア通貨はドル安を背景に小幅高。マレーシアリングgitが0.3%上昇し約2カ月ぶりの高値を付けた。リングgitは今月に入ってから対ドルで約0.8%上昇している。

海外市場のドル円は155円台前半でNYオープン。NY朝方に発表された米4月ヘッドラインCPI(前月比)と米4月小売売上高(前月比)が共に予想を下回り、発表後はドル売りが優勢となり、154円台後半まで売られる。売り一巡後は一時155円台後半まで戻す場面もあったが、買い戻しは長く続かず、その後155円台前半まで反落。午後はカンシュカリ・ミネアポリス連銀総裁が「もう少し長く現行の政策金利を維持する必要がある」との認識を示すも、ドル円は反応薄。その後も米金利が低下幅を拡大する動きが重しとなり、154円台後半まで続落。その後は下げ渋り、小幅反発し、154円台後半でクローズ。

【金利】

米金利市場は、低下。金利カーブは長期ゾーンでややブルスティープ化。NY朝方に、市場注目の4月CPI(消費者物価指数)および4月小売売上高の発表があり、CPIは前月比で予想を下回り、コア指数でも前回を下回った。小売売上高はコア指数でマイナス値を示すなど、全体的に弱めの結果という印象で、発表後に金利は低下。売り戻される場面もあったが、引けには再度金利低下基調となった。利下げ予想は年2回という見方が強くなっている。

【予想】

本日のドル円は上値の重い展開を予想。昨日発表された米4月CPI、小売売上高、ともに市場予想を下回ったことで、ドルが売られる展開となった。一方で、依然として、利下げ織込みは年2回にとどまっており、FEDの年3回の利下げ織込みと比較すると一段の下落余地が残る。基本的に大きくトレンドが変化する兆しはないものの、一旦は過度に剥落した利下げ織込みの調整が続くか。

【本日の予定】

(日本) 1Q GDP(速)
(日本) 3月 鉱工業生産(確) / 設備稼働率
(日本) 4月 全国百貨店売上高 / 東京地区百貨店売上高
(日本) 国債入札(20Y)
(アジア) 4月 NZ 非居住者 国債保有率
(アジア) 4月 豪 雇用統計
(アジア) フィリピン 金融政策会合
(欧州) 3月 伊 貿易収支
(欧州) 4月 伊 CPI(確)
(米国) 3月 ネットTICフロー合計 / ネット長期TICフロー
(米国) 4月 住宅着工件数 / 建設許可件数 / 住宅建設許可
(米国) 4月 製造業 / 設備稼働率 / 鉱工業生産
(米国) 4月 輸入物価指数 / 輸出物価指数
(米国) 5月 ニューヨーク連銀サービス業活動 / フィラデルフィア連銀景況
(米国) ホスティング・アトラクタ連銀総裁講演
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。